

# 平成28年度「全国学力・学習状況調査」 鳴門市の結果の概要と対応策

鳴門市教育委員会

## 1 はじめに

鳴門市におきましては、保護者の皆様をはじめとする市民の方々に、家庭や地域での子どもたちの学習支援や生活習慣の改善などを、学校との協力のもとに図っていただくため、本市の小中学生全般にかかる文部科学省実施の全国学力・学習状況調査の結果の概要をご報告いたします。

なお、本調査は特定教科・内容及び特定の学年の学力・学習状況調査であり、調査結果は本市の児童生徒の学力全体を評価したものではありません。

## 2 現状・課題（平均正答率より）

(1) 小学校 実施日 平成28年4月19日（火）

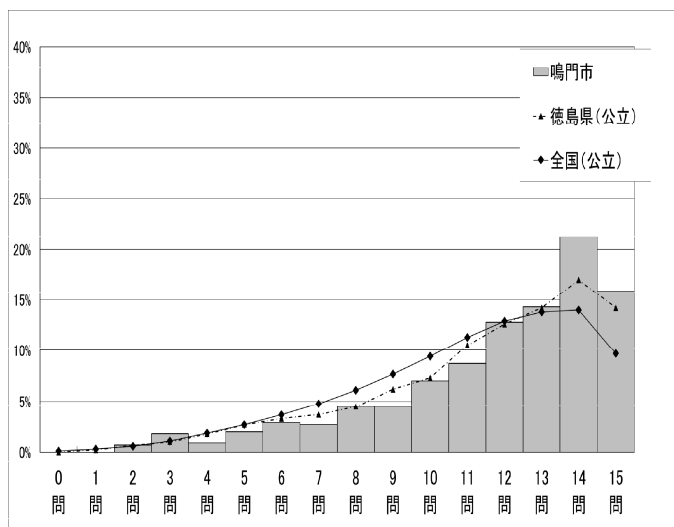
実施学校数 14校 調査児童数 6年生447人

### 各テスト結果の状況

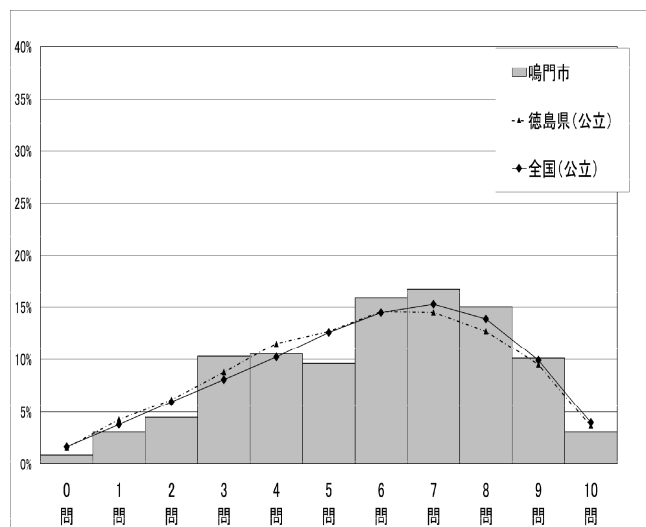
	国語A	国語B	算数A	算数B
全国平均正答率	72.9	57.8	77.6	47.2
徳島県平均正答率	75.9	56.5	76.9	45.0
鳴門市平均正答率	<b>78.4</b>	<b>58.9</b>	<b>78.0</b>	<b>45.5</b>
本市－全国	5.5	1.1	0.4	-1.7
本市－県	2.5	2.4	1.1	0.5
全国平均を上回った 領域等	「読むこと」 「伝統的な言語文化 と国語の特質に関する事項」	「書くこと」 「読むこと」	「数と計算」 「図形」 「数量関係」	
本年度の状況	国語A、国語B、算数Aは全国平均や県平均を上回っています。 全設問において、無回答率が全国平均や県平均を下回っています。 話す・聞く能力に課題がみられます。			
昨年度との比較	読む能力、言語事項の理解が向上しました。 算数Bで各領域の正答率は、全国平均との差が大きくなりました。 昨年度下位層であった学校の正答率が大きく向上しました。			

## 小学校正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）

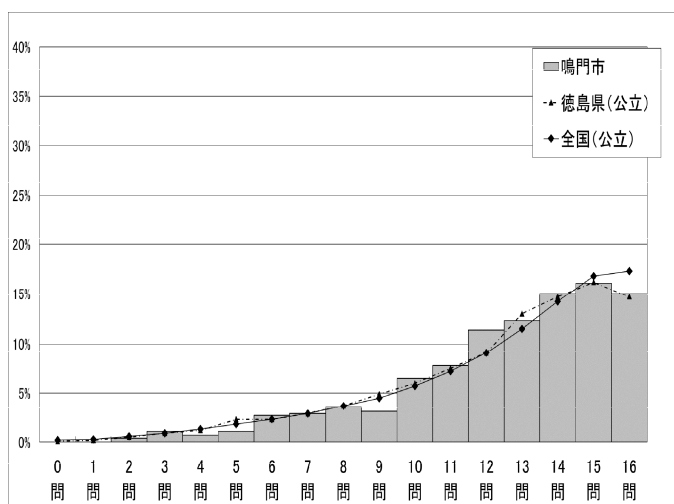
### 国語A



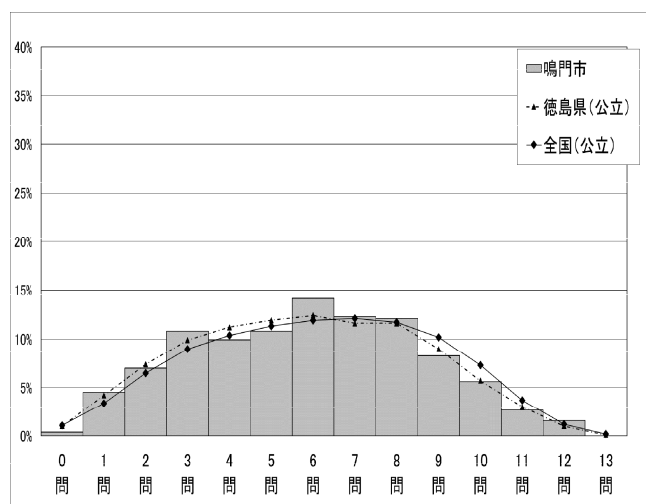
### 国語B



### 算数A



### 算数B



## 各テストにおける結果の概要

### 【国語A】

15問中正解した児童数が最も多かったのは、全国や徳島県と同じ14問でした。

14問正答率 鳴門市21.3% 全国14.0% 徳島県17.0%

全問正解は15.9%、正解3問以下は0.7%でした。

◇複数の叙述を基にして捉えること、文字の大きさや配列などを決めること、ローマ字で書くことや正しく読むこと、はよくできていました。

◇昨年度と比べ、読む能力の正答率に大きな向上が見られました。

◆漢字を正しく書くこと、書き手の表現の仕方をよりよくするために助言すること、に不得意な傾向が見られました。

◆書く能力の基礎・基本の習得が不十分である傾向が見られました。

## 【国語B】

10問中正解した児童数が最も多かったのは全国や徳島県と同じ7問でした。

7問正答率 **鳴門市16.8%** 全国15.3% 徳島県14.5%

全問正解は3.1%、正解3問以下は18.8%でした。

◇質問したいことを整理すること、グラフを基に分かったことを的確に書くこと、グラフや表を基に自分の考えを書くこと、目的に応じて複数の本や文章などを選んで読むこと、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること、文章の内容を的確に押さえ自分の考えを明確にしながら読むこと、はよくできていました。

◇書く能力、読む能力に関する正答率は昨年度に引き続きよい結果でした。

◆質問の意図を捉えること、話し手の意図を捉えながら聞き話の展開に沿って質問すること、活動報告文において課題を取り上げた効果を捉えること、に不得意な傾向が見られました。

## 【算数A】

16問中正解した児童数が最も多かったのは、全国は16問（正答率17.3%）ですが、本市は徳島県と同じ15問でした。

15問正答率 **鳴門市16.1%** 徳島県16.2% 全国16.8%

全問正解は15.0%、正解3問以下は1.5%でした。

◇計算すること、直方体において示された面に垂直な面を選ぶこと、列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書くこと、はよくできていました。

◆単位量当たりの大きさを求めること、三角形の底辺に対応する高さを求めること、全体の長さを基にしたときの部分の長さの割合が一番大きいものを選ぶこと、1を超える割合を百分率で表す場面において基準量と比較量の関係を理解していること、に不得意な傾向が見られました。

◆他の領域と比べ、量と測定領域の理解を身に付けていない傾向が見られました。

## 【算数B】

13問中正解した児童数が最も多かったのは、全国は7問（正答率12.1%）ですが、本市は徳島県と同じ6問でした。

6問正答率 **鳴門市14.1%** 徳島県12.4% 全国11.9%

全問正解は0%、正解3問以下は22.7%でした。

◇示された条件を基にほかの正方形について検討し同じきまりが成り立つかを調べること、はよくできていました。

◆示された説明を解釈し用いられている考えを別の場面に適用してその説明を記述すること、示された式に数値を当てはめて目標のタイムを求めること、示された式の中の数値の意味を解釈しそれを記述すること、単位量当たりの大きさを求めるためにほかに必要な情報を判断し特定すること、図形を構成する角の大きさを基に四角形を並べてできる形を判断すること、に不得意な傾向が見られました。

◆各領域において活用する力を十分に身に付けていない傾向が見られました。

## 改善のポイント

### 【国語】

- 話す・聞く能力を向上させるために、話し合い活動を通し他者とかわりながら自分の考えを明確にし表現する授業を展開していきます。
- 既習漢字を常に使用する習慣をつけさせます。
- 文中の語句の役割や意味のつながりに気をつけて文章を読み取らせませす。
- いろいろなスタイルで書く機会を設けます。

### 【算数】

- 活用する力を向上させるために、問題解決に至る過程を自分の言葉で説明したり、他者の考えを理解し説明する活動を取り入れた授業を展開していきます。
- 補充学習や家庭学習で計算技能の習熟を図ります。
- 図形領域の学習では、既習事項の振り返りを実践します。
- 学習形態の工夫や補充的な学習や発展的な学習を生かして、個に応じた学びを充実させます。

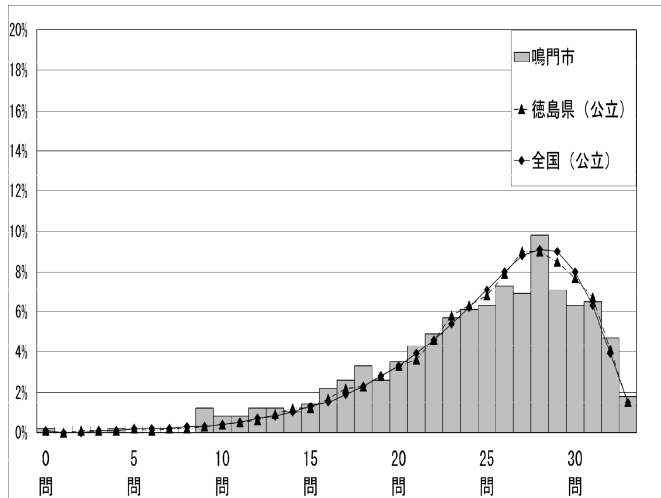
(2) 中学校 実施日 平成28年4月19日 (火)  
 実施学校数 5校 調査生徒数 3年生494人

### 各テスト結果の状況

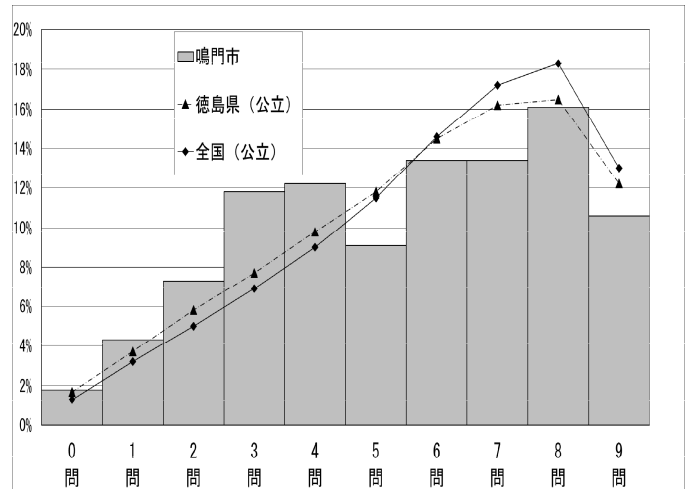
	国語A	国語B	数学A	数学B
全国平均正答率	75.6	66.5	62.2	44.1
徳島県平均正答率	75.7	64.4	64.9	44.0
鳴門市平均正答率	<b>74.0</b>	<b>60.7</b>	<b>63.6</b>	<b>42.7</b>
本市ー全国	-1.6	-5.8	1.4	-1.4
本市ー県	-1.7	-3.7	-1.3	-1.3
全国平均を上回った領域			「数と式」 「関数」	
本年度の状況	数学Aは全国平均を上回っています。 多くの設問で、無回答率が全国平均や県平均を上回っています。 国語、数学ともに、知識に関する問題 (A)の偏差が大きいです。			
昨年度との比較	国語A、数学A、数学Bで、全国平均との差が縮まりました。 数学の正答率3問以下の割合は、県や全国より高くなっています。 昨年度下位層であった学校の正答率が大きく向上しました。			

## 中学校正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）

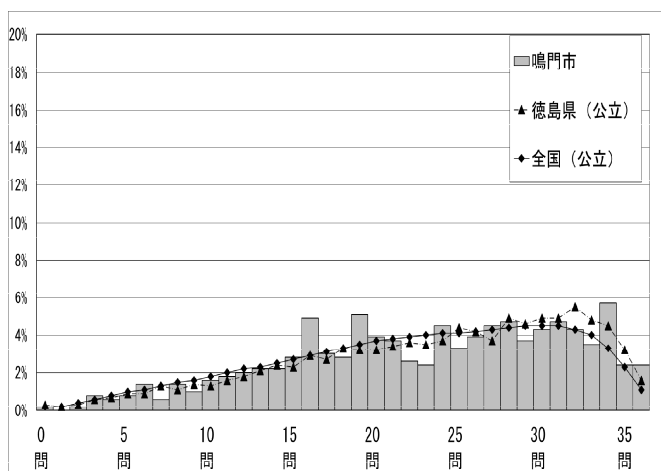
### 国語A



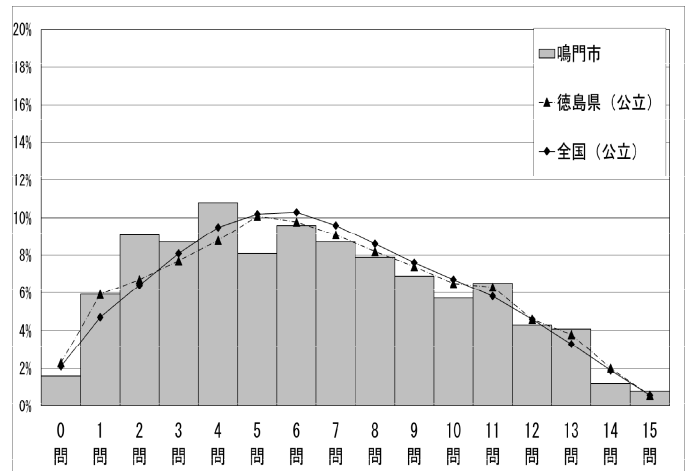
### 国語B



### 数学A



### 数学B



## 各テストにおける結果の概要

### 【国語A】

33問中正解した生徒数が最も多かったのは、全国や徳島県と同じ28問でした。

28問正答率 鳴門市9.8% 徳島県9.0% 全国9.1%

※徳島県は27問の正答率も同じ9.0%

全問正解は1.8%、正解3問以下は0.2%でした。

無解答率は全国平均の約1.3倍でした。

◇伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くこと、文章を読み返し文の使い方などに注意して書くこと、漢字を正しく読むこと、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと、は比較的よくできていました。

◆目的に応じて資料を効果的に活用して話すこと、集めた材料を整理して文章を構成すること、文脈の中における語句の意味を理解すること、伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと、奥付の特徴や役割を理解すること、語句の意味を理解し文脈の中で適切に使うこと、に不得意な傾向が見られました。

◆特に書く能力の基礎・基本を身に付けていない傾向が見られました。

## 【国語B】

9問中正解した生徒数が最も多かったのは、全国や徳島県と同じ8問でした。

8問正答率 鳴門市16.1% 徳島県16.5% 全国18.3%

全問正解は10.6%、正解3問以下は25.2%でした。

無解答率は全国平均の約1.9倍でした。

- ◆文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け要旨を捉えること、文章の構成や表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くこと、文章の構成を捉えること、目的に応じて文章を要約すること、課題を決めそれに応じた情報の収集方法を考えること、文章の展開に即して内容を理解すること、本や文章などから必要な情報を読み取り根拠を明確にして自分の考えを書くこと、に不得意な傾向が見られました。
- ◆書く能力や読む能力を活用する力を身に付けていない傾向が見られました。

## 【数学A】

36問中正解した生徒数が最も多かったのは、本市は34問でしたが、全国は4.5%の29問と30問と31問、徳島県は32問(5.5%)でした。

34問正答率 鳴門市5.7% 徳島県3.3% 全国4.5%

全問正解は2.4%、正解3問以下は1.2%でした。

無解答率は全国平均の約1.2倍でした。

- ◇加法減法や一次方程式を計算できること、ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解していること、数量の関係を文字式に表すこと、不等式の意味を読み取ること、具体的な場面で数量の関係を表す式を等式の性質を用いて目的に応じて変形できること、垂線の作図の方法について理解していること、平行線や角の性質を用いて角の大きさを求めること、多角形の外角の和の性質を理解していること、比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉えxの値に対応するyの値を求めること、反比例のグラフ上の点の座標からxとyの関係を式で表すことができること、一次関数  $y=ax+b$  について変化の割合が一定でaの値に等しいことを理解していること、はよくできていました。
- ◆分数と小数の乗法の計算ができること、自然数の意味を理解していること、四角形をその面と垂直な方向に平行に動かすと四角柱が構成されることを理解していること、命題の逆を理解していること、証明の必要性と意味を理解していること、「同様に確からしい」ことの意味や前の試行が次の試行に影響しないことを理解していること、に不得意な傾向が見られました。
- ◆資料の活用領域の基本的な理解を身に付けていない傾向が見られました。

## 【数学B】

15問中正解した生徒数が最も多かったのは、本市は4問でしたが、全国は6問の10.3%、徳島県は5問の(10.1%)でした。

4問正答率 鳴門市5.7% 全国8.8% 徳島県9.5%

全問正解は0.8%、正解3問以下は25.3%でした。

無解答率は全国平均の約1.5倍でした。

◇与えられた情報から必要な情報を選択し数学的に表現することができること、計算の過程を振り返って考え数当てゲームの新しい手順を完成することができること、はよくできていました。

◆適切な事柄を判断しその事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができること、付加された条件の下で新たな事柄を見だし説明すること、資料の傾向を的確に捉え判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること、問題場面における考察の対象を明確に捉えること、与えられた式を用い問題を解決する方法を数学的に説明すること、に不得意な傾向が見られました。

◆数学的な見方や考え方や数学的な技能の基本的な理解を身に付けていない傾向が見られました。

## 改善のポイント

### 【国語】

- 書く能力、読む能力を育成するために、ワークシートやホワイトボードを活用し、書くことと読むことの関連を図る授業を展開していきます。
- 教材や指導法を工夫し、「国語学習は楽しい」と感じる授業を推進します。
- 聞く、話す、書く、読む活動を学習にバランス良く取り入れ、継続して指導します。
- 様々な文章を読む機会を設定します。
- 場面に即した多様な語句・語彙指導や、辞書を活用した語句・語彙指導を繰り返すなど、言語事項の指導を工夫します。

### 【数学】

- 数学的な見方や考え方や数学的な技能の基本的な理解を図るために、興味や問題を解こうとする意欲が持てる問題を提示する授業を推進します。
- 「課題に対する自分の考えを持ち、言葉や文章で表現し説明する活動」を取り入れ、考えたことをまとめたり表現したりする際にノートを使う指導を継続します。
- 数学的用語を常時使います。
- 宿題だけでなく、授業中も可能な限り演習の時間を設け反復練習させます。
- 授業のスピードや難易度を実態に合わせて調整します。

### 3 児童・生徒、学校への質問紙から見える改善のポイント

#### 児童・生徒質問紙調査結果において昨年度より向上した生活状況例

質 問		昨年 (%)	本年 (%)	差 (%)
小 学 校	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	54.7	<b>56.7</b>	2.0
	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	68.9	<b>72.6</b>	3.7
	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	22.2	<b>24.7</b>	2.5
	家で、学校の授業の予習をしていますか	10.5	<b>15.7</b>	5.2
	今住んでいる地域の行事に参加していますか	27.0	<b>29.8</b>	2.8
ニュースを見ますか	43.0	<b>57.2</b>	14.2	
中 学 校	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	50.1	<b>55.3</b>	5.2
	自分には、よいところがあると思いますか	23.8	<b>26.0</b>	2.2
	友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	43.2	<b>45.9</b>	2.7
	普段(月～金曜) 2時間以上ゲームをする	40.6	<b>30.6</b>	-10.0
	普段2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする	56.8	<b>50.5</b>	-6.3
	普段2時間以上通話やメール、インターネットをする	33.9	<b>30.3</b>	-3.6
	家で、学校の授業の予習をしていますか	7.7	<b>9.8</b>	2.1
	地域や社会で起きている問題や出来事に関心がありますか	13.9	<b>22.6</b>	8.7
	ニュースを見ますか	41.6	<b>56.1</b>	14.5
	読書は好きですか	35.6	<b>40.9</b>	5.3

#### 児童・生徒質問紙調査結果から改善を要すると思われる生活状況例

質 問		全国 (%)	本市 (%)	市-国 (%)
小 学 校	朝食を毎日食べていますか	87.3	<b>82.1</b>	-5.2
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	57.4	<b>56.7</b>	-2.7
	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	38.2	<b>29.1</b>	-9.1
	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	25.3	<b>24.7</b>	-0.6
	友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	56.3	<b>49.3</b>	-7.0
	将来の夢や目標を持っていますか	68.6	<b>65.5</b>	-3.1
	家の手伝いをしていますか	35.1	<b>26.9</b>	-8.2
	今住んでいる地域の行事に参加していますか	39.1	<b>29.8</b>	-9.3
	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	36.2	<b>28.9</b>	-7.3
	普段、テレビゲームを2時間以上する	29.7	<b>31.7</b>	2.0
学校に行くのは楽しいと思いますか	55.8	<b>55.2</b>	-0.6	



中学校	朝食を毎日食べていますか	83.3	<b>79.9</b>	-3.4
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	55.9	<b>55.3</b>	-0.6
	自分には、よいところがあると思いますか	27.4	<b>26.0</b>	-1.4
	友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	55.1	<b>45.9</b>	-9.2
	普段2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする	48.7	<b>50.5</b>	1.8
	普段2時間以上通話やメール、インターネットをする	30.1	<b>30.3</b>	0.2
	休みの日に、1日当たり3時間以上勉強する	16.6	<b>14.3</b>	-2.3
	家で、学校の授業の予習をしていますか	11.9	<b>9.8</b>	-2.1
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	26.7	<b>22.6</b>	-4.1
	読書は好きですか	46.2	<b>40.9</b>	-5.3
	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	17.6	<b>12.2</b>	-5.4
	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	38.9	<b>32.3</b>	-6.6
	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	44.2	<b>36.8</b>	-7.4
	今住んでいる地域の行事に参加していますか	19.1	<b>7.5</b>	-11.6
	人が困っているとき、進んで助けていますか	34.1	<b>27.2</b>	-6.9
	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	48.7	<b>30.1</b>	-18.6

## 児童・生徒質問紙クロス集計からみた平均正答率の状況

小学校例（太字は最高正答率）

(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

選択肢	調査者数	割合 (%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
している	253	56.7	<b>79.3</b>	<b>59.4</b>	<b>79.0</b>	<b>47.2</b>
どちらかといえば、している	143	32.1	78.6	58.7	78.3	45.2
あまりしていない	43	9.6	74.0	58.1	73.0	38.5
全くしていない	7	1.6	68.6	50.0	69.6	35.2

(11) 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

選択肢	調査者数	割合 (%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
4時間以上	71	15.9	71.4	54.4	70.3	39.0
3時間以上、4時間より少ない	78	17.5	80.3	61.2	<b>81.5</b>	46.7
2時間以上、3時間より少ない	116	26.0	79.2	57.9	78.8	45.3
1時間以上、2時間より少ない	124	27.8	<b>82.1</b>	<b>61.6</b>	80.9	<b>49.9</b>
1時間より少ない	49	11.0	77.0	60.6	78.1	44.9
全く見たり、聞いたりしない	8	1.8	60.8	38.8	58.6	30.8

## (37)新聞を読んでいますか

選択肢	調査者数	割合 (%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
毎日読んでいる	28	6.3	74.0	57.9	68.5	38.2
週に1～3回程度読んでいる	83	18.6	<b>84.1</b>	<b>64.9</b>	<b>83.1</b>	<b>51.6</b>
月に1～3回程度読んでいる	124	27.8	81.7	61.5	82.4	48.7
ほとんど、または、全く読まない	211	47.3	74.8	55.1	74.8	42.2

## 中学校例（太字は最高正答率）

## (1) 朝食を毎日食べていますか

選択肢	調査者数	割合 (%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
している	393	79.9	<b>75.5</b>	<b>63.3</b>	<b>66.2</b>	<b>45.3</b>
どちらかといえば、している	62	12.6	67.2	51.4	54.7	33.0
あまりしていない	23	4.7	73.1	50.7	59.2	33.9
全くしていない	14	2.8	62.1	46.0	37.9	24.8

## (13) 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか

選択肢	調査者数	割合 (%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
4時間以上	32	6.5	68.8	46.9	48.4	30.4
3時間以上、4時間より少ない	43	8.7	69.6	55.0	58.5	38.4
2時間以上、3時間より少ない	76	15.4	69.7	53.4	59.5	39.2
1時間以上、2時間より少ない	130	26.4	75.0	60.9	64.9	42.8
1時間より少ない	137	27.8	76.3	<b>67.0</b>	<b>68.4</b>	<b>48.2</b>
全くしない	74	15.0	<b>77.0</b>	65.8	66.3	43.5

## (37)新聞を読んでいますか

選択肢	調査者数	割合 (%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
毎日読んでいる	34	6.9	<b>78.3</b>	<b>64.7</b>	<b>66.8</b>	<b>50.4</b>
週に1～3回程度読んでいる	54	11.0	71.4	54.9	60.5	40.4
月に1～3回程度読んでいる	117	23.8	73.5	61.0	62.7	41.9
ほとんど、または、全く読まない	287	58.3	74.2	61.3	64.1	42.5

クロス集計で選択肢ごとの平均正答率を比較していますが、小学校・中学校とも調査者数が多くないため、ごく少数の回答結果に大きく影響されているものが少なくありません。このことを踏まえた上で結果を見ても、小学校、中学校とも望ましい状況の者が、高い正答率となっている傾向にあります。

例に挙げた以外にも、いくつかの改善を要する生活状況がありました。また学校質問紙からもいくつかの改善を要する学習指導状況がありました。

それらを基に、生活と指導方法の2面から、見直すべきポイントを次のようにまとめました。

## 1 生活の見直しポイント

- ・地域行事やボランティア活動等への参加を推奨し、健全な心を育成します。
- ・学校と保護者の連携に努め、学習時間の確保と学習習慣の確立や主体的な読書習慣の獲得を推進します。
- ・各校で作成している「家庭学習の手引き」を見直し、効果的な家庭学習の仕方を指導します。

## 2 指導方法の見直しポイント

### (1) 指導者の学力への危機意識啓発と指導力向上や授業改善

- ・学習のねらいを明示し、分かる楽しさが味わえる授業を展開します。
- ・「板書」「ノート」「発問」を密接に関連させ、知識を構造化してとらえさせる指導を推進します。
- ・学力向上実行プランの進捗状況を定期的にチェックし、計画を常に意識させます。
- ・単元始めに理解度等の状況を確認し、既習事項を活用する授業を展開します。
- ・反復学習に計画的、継続的に取り組ませ、基礎的、基本的内容の定着を図ります。
- ・多様な問題に取り組ませ、教科や領域特有の解き方、考え方を学ばせます。
- ・一人一人の確実な学力向上を目指し、個別指導、補充指導、T.T（チームティーチング 複数の教員による指導）を有効に活用します。

### (2) 魅力ある学習環境整備

- ・学級経営力を向上させ、快適な学習の場を設定します。
- ・正しい言語環境や学習規律を確立し、楽しく意欲的に学ぶ雰囲気をつくり出します。
- ・電子黒板をはじめ、教材や教具を効果的に活用し、魅力ある学習を推進します。
- ・授業時数を確保し、ゆとりある教育課程を実施します。

## 4 今後の取組方針

学校と市教育委員会では次のことを強力に推進します。

- 学力向上と、そのための効果的な教育環境の整備を図ることを目的とした、学校関係者や鳴門教育大学教官、有識者、市教育委員会で組織する鳴門市学力向上推進委員会を継続して開催し、各学校・幼稚園が連携して情報収集や調査結果の分析を行うとともに、具体的な対策について研究を進め、全市一体となった取組を進めます。
- 鳴門市学力向上推進委員会で決定した方針を校内学力推進員情報交換会で解説し、鳴門市の課題を学校長や学力向上推進員を中心に全教職員で共有し、各校の課題と関連付けた具体的な方策を推進します。
- 家庭と連携し、全市的に実態を継続的に調査しながら、基本的生活習慣や学習習慣の育成を図ります。
- 調査結果を各校において分析し、自校の課題を明確にして、学力向上実行プランに反映させます。
- 各中学校区において小中連携を推進し、「学びの継続」を図ります。
- 「学校評価・鳴門プラン」を活用し、PDCAサイクルを生かした学力向上推進を図ります。

家庭や地域では次のような取組の推進をお願いします。

- 早寝・早起き・朝ご飯の習慣の定着を図りましょう。
- 調和の取れた食事を心がけましょう。
- 子どもの生活リズムの向上に努めましょう。
- 虫歯や近視の予防に努めましょう。
- 睡眠を十分にとらせましょう。
- スマホやゲームの使用時間を制限し、学習や運動時間の確保を図りましょう。
- 地域行事やボランティア活動への参加を促しましょう。
- 子どもとよく会話し、生活状況の把握に努めましょう。